

第5章 基本方針と将来像

1 地域公共交通に関する基本方針

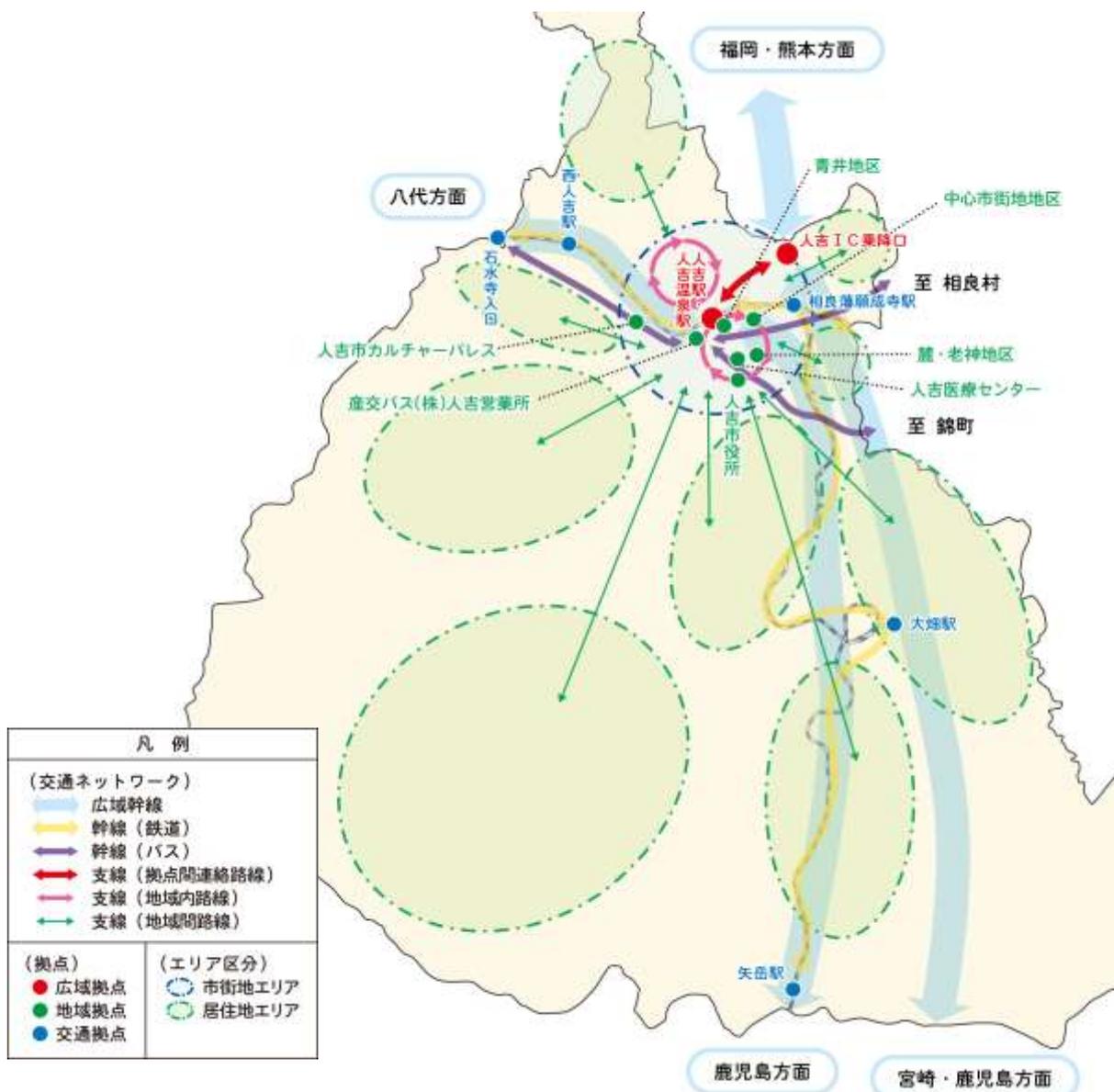
本市の地域公共交通に関する基本方針は、次のとおりとします。

《基本方針》

誰もが暮らしやすい都市の実現、希望ある復興を支える基盤として、持続的な移動サービスの提供に向けた地域公共交通の構築を地域一丸となり目指します

2 本市が目指す地域公共交通の将来像

- ・地域公共交通の将来像は、本市を市街地エリアと居住地エリアに大きく区分し、市街地エリアは広域拠点や日常生活において市民が集まる施設等が集積する地域拠点が立地するエリア（概ね都市計画区域内）とします。
- ・地域公共交通に関しては、居住地エリアから市街地エリアへの移動手段として、地域の実情等に応じた持続的な移動サービスを提供します。
- ・また、市街地エリアにおいては、拠点間を連絡する移動サービスの利便性等を考慮し提供することで、誰もが暮らしやすい都市の実現を目指します。



【拠点の定義】

本市のみでなく人吉球磨地域への玄関口となる「広域拠点」、日常生活等において市民が集まるとともに、観光客等が訪れる「地域拠点」、さらには駅などの「交通拠点」の3拠点を設定します。

表 拠点の考え方

拠点名	位置づけ (配置方針)	求められる機能	拠点候補地
広域拠点	広域幹線、 幹線、支線	多様な交通手段が結節し、本市並びに人吉球磨地域の玄関口となる拠点	人吉駅・人吉温泉駅、人吉 IC
地域拠点	幹線、支線	日常生活において市全体から市民が集まる拠点 さらには、観光客などの来訪者が訪れる拠点	中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区、 その他中心部、産交バス(株)人吉営業所、 人吉医療センター、人吉市役所、 人吉市カルチャーパレス、農免道路沿線
交通拠点	幹線相互、 幹線と支線 が結節	地域公共交通相互が結節し、乗り換え機能等を有する拠点	鉄道駅（西人吉駅、相良藩願成寺駅、大畑駅、矢岳駅）、石水寺入口

【地域公共交通ネットワークの定義】

地域公共交通ネットワークは、人吉球磨地域と地域外の移動を支える「広域幹線」、人吉球磨地域内の移動を支える「幹線（鉄道）」「幹線（バス）」「支線」を設定します。

表 交通ネットワークの考え方

路線名	果たすべき役割	主な利用者	交通手段	
広域幹線	・人吉球磨地域と地域外の交流人口の移動を支えます。	観光客などの来訪者、 市民及び地域住民	JR 九州肥薩線、 高速バス	
幹線（鉄道）	・人吉球磨地域の骨格を形成。 ・市町村間を連絡するとともに、交流人口の移動を支えます。	高校生の通学者、 市民及び地域住民、 観光客などの来訪者	JR 九州肥薩線、 くま川鉄道	
幹線（バス）	・市町村間を連絡し、市民及び地域住民の日常生活の移動を支えます。	通勤・通学者、 高齢者をはじめとする交通弱者の買い物・通院などの利用	路線バス	
支線	拠点間 連絡路線	・広域拠点間を連絡し、市民の日常生活及び交流人口の移動を支えます。	観光客などの来訪者、 市民及び地域住民	じゅぐりっと号、 タクシー
	地域内 路線	・市街地エリア内における拠点間を連絡し、市民の日常生活の移動を支えます。	観光客などの来訪者、 市民全般	コミュニティバス、 タクシー
	地域間 路線	・地域間の移動や地域内での移動を支えます。	高齢者をはじめとする交通弱者の買い物・通院・通学などの利用	コミュニティバス(まめバス)、乗合タクシー、 タクシー、 自家用有償運送

また、「②地域公共交通体系が持続可能に再編された状態」として、将来（くま川鉄道全線開通時）において、五木線など地域間幹線系統路線バスを対象としたコミュニティ交通への見直し、さらには、人吉 IC への結節機能強化などが位置付けられています。

〔将来（くま川鉄道全線開通時）〕

